

生涯発達看護学講座

母性看護・助産学領域

著 書

- 1 佐藤珠美, 中野理佳, 高崎光浩, 佐賀県リカレント教育事業実施委員会: 潜在助産師に再び活躍できる場を! 佐賀県助産師リカレント教育事業. 助産雑誌 特集: 教科書に載っていない「進まない分娩」の対応, 特別記事, 76(2), 162-168, 2022, 4, (株)医学書院, 東京.

原著論文

- 1 Tamami Satoh, Lourdes R Herrera Cadillo, Kazutomo Ohashi, Tetsuro Onishi: Self-assessed hand and wrist pain and quality of life for postpartum mothers in Japan. BJM, 30(8): 467-475, 2022, 8.
- 2 中野理佳, 佐藤珠美, 榎原 愛, 鈴木智恵子, 米満 潔: 分娩介助技術教育における360度カメラの活用. 佐賀母性衛生学会雑誌, 24(1): 8-10, 2022, 3.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 佐藤珠美, 中野理佳, 田尻 涼, 野口 満: 産後1年の尿失禁に関連する因子の探索的前向き観察研究. 第29回日本排尿機能学会 (ハイブリッド形式開催). 2022, 9, 1-3 (現地開催+Live 配信).
- 2 中野理佳, 佐藤珠美, 榎原 愛: 潜在助産師を対象としたリカレント教育の運営と課題. 第36回日本助産学会学術集会 (WEB 開催). 2022, 3, 19-20 (ライブ配信), 2022, 3, 19-5, 5 (オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	佐藤 珠美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	母親の抱っこ時の身体不調を予防するための遠隔姿勢評価・支援システムの開発	1,560
准教授	中野 理佳	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	母親の抱っこ時の身体不調を予防するための遠隔姿勢評価・支援システムの開発	195
教授	佐藤 珠美	DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業	文部科学省令和3年度DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業	1	妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する助産師・保健師のリスクプログラム	5,010
助教	榊原 愛	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	産後の女性を対象とした運動プログラムの開発と検証	130
助教	榊原 愛	佐賀県	令和4年度「TSUNAGIプロジェクト」	1	女子中学生のアスリート支援プロジェクト研究	268

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
副看護部長 教授 准教授 特任助教	佐田富浩子 佐藤 珠美 中野 理佳 高守 史子	日本新生児看護学会・学術奨励賞	NICU/GCUに入院した児の母親の退院準備に対する主観的評価と関連要因

小児看護学領域

著書

- 鈴木智恵子：ホワイトボード・ミーティング®で進めるカンファレンス①. 看護のチカラ 2022年4月15日号 特集2：実りのあるカンファレンスにする～ダラダラ時間を充実時間に変える～, 実りのあるカンファレンスにする会議を効果的に進める「ホワイトボード・ミーティング®」, No. 577, 34-35, 2022, 4, (株)産労総合研究所, 東京.

原著論文

- 大坪美由紀, 鈴木智恵子, 河野 史: バーチャルリアリティの看護技術教育教材を用いた演習の有有用性の評価. 佐賀母性衛生学会雑誌, 24(1): 4-7, 2022, 3.
- 中野理佳, 佐藤珠美, 榊原 愛, 鈴木智恵子, 米満 潔: 分娩介助技術教育における360度カメラの活用. 佐賀母性衛生学会雑誌, 24(1): 8-10, 2022, 3.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Michiko Shigihara, Yuki Sato, Emiko Terauchi, Kae Saeki, Reiko Suzuki, Chieko Suzuki: Regional differences in food choice priority and related social and environmental factors in Japanese schoolchildren. IUNS-ICN 22nd International Congress of Nutrition in Tokyo, Japan (Hybrid event). 2022, 12, 6-11(On-site+On-line). abstract book.
- 2 Airi Sekine, Kae Saeki, Emiko Terauchi, Yuri Ogata, Aya Sato, Yuki Sato, Chieko Suzuki, Reiko Suzuki: Dietary habits associated with dental caries in Japanese elementary school children: a cross-sectional study. IUNS-ICN 22nd International Congress of Nutrition in Tokyo, Japan (Hybrid event). 2022, 12, 6-11 (On-site+On-line). abstract book.
- 3 Terumi Sameshima, Chieko Suzuki, Miyuki Otubo, Satoshi Kono: Evaluation of Self-Learning in Technical Practice Using Virtual Reality. 25th EAFONS 2022(Held online). 2022, 4, 21-22. abstract book.

国内全国規模の学会

- 1 嶋原美智子, 近藤亜水美, 鈴木礼子, 鈴木智恵子, 大岩沙希, 佐藤ゆき: コロナ禍における学童の食生活に関する実態調査 第1報-保護者の意識から児童の食生活改善-. 第69回日本栄養改善学会学術総会(ハイブリッド形式開催). 2022, 9, 16-18(現地開催及びLIVE配信), 2022, 9, 16-10, 31 (オンデマンド配信).
- 2 近藤亜水美, 嶋原美智子, 鈴木礼子, 鈴木智恵子, 大岩沙希, 佐藤ゆき: コロナ禍における学童の食生活に関する実態調査 第2報. 第69回日本栄養改善学会学術総会 (ハイブリッド形式開催). 2022, 9, 16-18 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 9, 16-10, 31 (オンデマンド配信).
- 3 佐藤ゆき, 嶋原美智子, 近藤亜水美, 西出朱美, 寺内恵美子, 関根愛莉, 鈴木礼子, 鈴木智恵子: 東日本大震災後の児童の食生活の経年変化-地場産食品摂取への影響と背景要因-. 第69回日本小児保健協会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 24-26 (現地会場及びライブ配信), 2022, 7, 7-31 (オンデマンド配信).
- 4 大坪美由紀, 高橋浩一郎, 在津正文, 鈴木智恵子: アレルギー疾患のトランジション支援に向けた研修会の有用性と課題. 第71回日本アレルギー学会学術大会 (ハイブリッド開催). 2022, 10, 7-9 (現地開催及びライブ配信), 2022, 11, 1-30 (オンデマンド配信).
- 5 大坪美由紀, 高橋浩一郎, 在津正文, 鈴木智恵子: アレルギー疾患のトランジション支援の課題と展望. 第69回日本小児保健協会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 24-26 (現地会場及びライブ配信), 2022, 7, 7-31 (オンデマンド配信).
- 6 鈴木智恵子, 田中あづさ, 矢田幸博: 紙パンツの吸収体の薄さが歩行機能に及ぼす影響. 第22回日本抗加齢医学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 17-19 (現地開催及びライブ配信), 2022, 7, 11-31 (オンデマンド配信).
- 7 内田浩江, 前田一枝, 菊原美緒, 實金栄, 奥西春美, 鈴木智恵子: 医療現場で活用できるファシリテーションの4つのスキル-ホワイトボード・ミーティング®を用いて-. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+WEB開催).
- 8 鮫島輝美, 菊原美緒, 合田友美, 鈴木智恵子, 水戸優子, 長島俊輔: 看護教育の授業実践におけるデジタル教材の活用方法について考える. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催).

2022, 12, 3 - 4 (現地開催 + WEB 開催).

地方規模の学会

- 1 大坪美由紀, 鈴木智恵子: AR を用いた小児看護学技術演習に向けた取り組み. 第24回佐賀母性衛生学会. 2022, 6, 17.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	鈴木智恵子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	XR を用いた災害支援ができる看護人材育成プログラム構築	910
助教	大坪美由紀	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	XR を用いた災害支援ができる看護人材育成プログラム構築	65
助教	大坪美由紀	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	気管支喘息のトランジションに向けた教育支援プログラム開発と検証	910
教授	鈴木智恵子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	気管支喘息のトランジションに向けた教育支援プログラム開発と検証	130
客員 研究員	河野 史	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	足の変形による下肢筋への影響とその回復に関する形態機能学的解析	650
教授	鈴木智恵子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	足の変形による下肢筋への影響とその回復に関する形態機能学的解析	195
教授	鈴木智恵子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	XR (仮想空間技術) を活用した虐待予防教育プログラムの開発	1,560
助教	大坪美由紀	R 4 年度 TSUNAGI プロジェクト	公募取組事業	2	女子中学生のアスリート支援プロジェクト	115

急性期看護学領域

原著論文

- 1 *宮崎里美, 古賀明美: 外来心不全患者の症状と負担度 - New York Heart Association 心機能分類 I・II における比較 -. 日本循環器看護学会誌, 17(1): 47-55, 2022.
- 2 ○南里 穂, 古賀明美, 熊谷有記: 特定機能病院・地域医療支援病院の外来看護師における道徳的感性の特性と関連要因. 日本慢性看護学会誌, 16(1): 11-20, 2022, 12.
- 3 *中野国枝, 古賀明美, 川久保愛: 慢性腎臓病 4 期以降の患者が腎代替療法開始前に認知する病気の不確かさと影響要因. 日本腎不全看護学会誌, 24(2): 45-55, 2022.
- 4 ○藤井純子, 永渕美樹, 小島基靖, 武市幸奈, 古賀明美, 安西慶三: 佐賀県における $\Delta eGFR$ を用いた糖尿病性腎症重症化予防の取組. 日本糖尿病情報学会誌, Vol. 20, 13-18, 2022, 9.

総 説

- 1 古賀明美, 永渕美樹, 藤井純子, 安西慶三: 佐賀県における糖尿病性腎症重症化予防の検証－糖尿病コーディネーター看護師を活用した地域医療連携システム－. 日本糖尿病情報学会誌, Vol. 19, 4-9, 2022, 3.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 ○力久真奈美, 松尾照美, 栢島久美子, 川久保愛, 武富由美子, 古賀明美: 救急ICUに入室した外傷患者1例の小型睡眠脳波計を用いた睡眠の実態. 第24回日本救急看護学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 10, 14-15(会場開催), 2022, 10, 21-11, 4(オンデマンド配信).
- 2 ○山田春奈, 古賀明美, 川久保愛, 武富由美子: プレホスピタルケアに従事する看護師のSOCと関連要因. 一般社団法人日本看護研究学会第48回学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28(現地開催及びライブ配信), 2022, 8, 27-10, 7(オンデマンド配信).
- 3 *太田幸枝, 古賀明美, 武富由美子, 川久保愛: 骨折により床上安静となった高齢者の意欲低下と入院前の生活機能や社会とのかかわりの関連. 一般社団法人日本看護研究学会第48回学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28(現地開催及びライブ配信), 2022, 8, 27-10, 7(オンデマンド配信).
- 4 武富由美子, 田渕康子, 熊谷有記, 坂本麻衣子, 鐘ヶ江寿美子, 矢ヶ部伸也: がん患者遺族の心的外傷後成長と関連要因に関する縦断研究. 第46回日本死の臨床研究会年次大会(ハイブリッド開催). 2022, 11, 26-27(現地開催+ライブ配信), 2022, 12-2023, 1, 31(オンデマンド配信).
- 5 ○井上 瑛, 武市幸奈, 山崎有菜, 高橋宏和, 藤井純子, 永渕美樹, 南里 穂, 古賀明美, 小島基靖, 山崎孝太, 吉村 達, 山内寛子, 美奈川仁美, 江島英理, 高木佑介, 安西慶三: 佐賀県における糖尿病性腎症重症化予防対策の成果と課題. 第65回日本糖尿病学会年次学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 5, 12-14(現地開催及びライブ配信), 2022, 6, 1-7, 11(オンデマンド配信).
- 6 川久保愛, 清水安子, 江口有一郎: 肝炎医療コーディネーターの強みを活かした看護研究～非代償性肝硬変患者に対する支援の方策を探る～. 第58回日本肝臓学会総会(ハイブリッド形式開催). 2022, 6, 2-3(現地開催+リアルタイムライブ配信), 2022, 6, 20-7, 18(オンデマンド配信).

地方規模の学会

- 1 川久保愛, 古賀明美: 肝炎医療コーディネーター(肝Co)である看護教員が行う「慢性肝疾患患者に対する看護」の講義の効果. 第120回日本消化器病学会九州支部例会/第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 2-3(現地開催), 2022, 12, 6-25(オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	古賀 明美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	糖尿病腎症重症化予防におけるコーディネート看護師を活用した医療連携の有効性の検証	993 (493)
教授	古賀 明美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	プレホスピタルに従事する看護師の PTSD 発症予防策の構築に向けた基礎的研究	65
講師 (特定)	武富由美子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	ピアサポーター参加型のがん相談支援ネットワークモデルの開発	0 (658)
助教	川久保 愛	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	糖尿病腎症重症化予防におけるコーディネート看護師を活用した医療連携の有効性の検証	200

※ () は繰越金で外数

慢性期看護学領域

著書

- 熊谷有記：ゴードンの枠組みでアセスメント 事例でわかる！疾患別看護過程 慢性腎臓病. プチナース, 31(4別冊), 2-19, 2022, 3, (株)照林社, 東京.

原著論文

- 室屋和子, 田渕康子, 熊谷有記, 鈴鹿綾子：夫を看取り終えた高齢女性のその後の対処. インターナショナル Nursing Care Research, 21(2)：51-60, 2022, 5.
- 南里 穂, 古賀明美, 熊谷有記：特定機能病院・地域医療支援病院の外来看護師における道徳的感性の特性と関連要因. 日本慢性看護学会誌, 16(1)：11-20, 2022, 12.

学会発表

国内全国規模の学会

- 山田春奈, 古賀明美, 川久保愛, 武富由美子：プレホスピタルケアに従事する看護師のSOCと関連要因. 一般社団法人日本看護研究学会第48回学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28(現地開催及びライブ配信), 2022, 8, 27-10, 7 (オンデマンド配信).
- 酒井宏子, 水之江鈴子, 丸尾香子, 熊谷有記：日常生活自立度J1～B1患者の仙骨部触診による病的骨突出評価. 第24回日本褥瘡学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28(現地開催・ライブ配信), 2022, 9, 6-30 (オンデマンド配信).
- 室屋和子, 田渕康子, 熊谷有記, 鈴鹿綾子：高齢者の生活や社会参加活動と精神的健康との関連－配偶者との死別の有無に着目して－. 第42回日本看護科学学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE 配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).
- 武富由美子, 田渕康子, 熊谷有記, 坂本麻衣子, 鐘ヶ江寿美子, 矢ヶ部伸也：がん患者遺族の心的外傷後成長と関連要因に関する縦断研究. 第46回日本死の臨床研究会年次大会(ハイブリッド開催).

2022, 11, 26-27 (現地開催+ライブ配信), 2022, 12-2023, 1, 31 (オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	熊谷 有記	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	Dying process の効果的な説明に関するケアモデル開発	390
准教授	熊谷 有記	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	看取りのパフレットを用いた終末期在宅ケアモデルの開発	0 (716)
准教授	熊谷 有記	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	配偶者と死別した男性高齢者の社会生活への適応を促進する支援モデルの開発	130
准教授	熊谷 有記	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	配偶者と死別した男性高齢者の心理回復過程と対処行動に関する研究	0 (100)
准教授	熊谷 有記	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	ピアサポーター参加型のがん相談支援ネットワークモデルの開発	0 (60)
助教	山田 春奈	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	プレホスピタルケアに従事する看護師の PTSD 発症予防策の構築に向けた基礎的研究	520

※ () は繰越金で外数

老年看護学領域

原著論文

- 1 室屋和子, 田渕康子, 熊谷有記, 鈴鹿綾子: 夫を看取り終えた高齢女性のその後の対処. インターナショナル Nursing Care Research, 21(2): 51-60, 2022, 5.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Y Matsunaga-Myoji, K Fujita, Y Tabuchi, M Mawatari: RELATIONSHIP BETWEEN DAILY PHYSICAL ACTIVITY AND HEALTH-RELATED QUALITY OF LIFE AFTER REVISION TOTAL HIP ARTHROPLASTY. 25th EAFONS 2022 (Held online). 2022, 4, 21-22. Abstract Number: 0206, Paper Number: EC-57.

国内全国規模の学会

- 1 守屋洋子, 田渕康子, 室屋和子, 石丸浩美: 外来維持血液透析患者のレジリエンスの実態と影響要因. 一般社団法人日本看護研究学会第48回学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28 (現地開催及びライブ配信), 2022, 8, 27-10, 7 (オンデマンド配信).
- 2 *石丸浩美, 田渕康子, 室屋和子, 守屋洋子: 退院支援看護師の退院支援実践能力に影響する要因. 一般社団法人日本看護研究学会第48回学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28 (現地開催及びライブ配信), 2022, 8, 27-10, 7 (オンデマンド配信).
- 3 武富由美子, 田渕康子, 熊谷有記, 坂本麻衣子, 鐘ヶ江寿美子, 矢ヶ部伸也: がん患者遺族の心的

外傷後成長と関連要因に関する縦断研究. 第46回日本死の臨床研究会年次大会(ハイブリッド開催). 2022, 11, 26-27 (現地開催+ライブ配信), 2022, 12-2023, 1, 31 (オンデマンド配信).

- 4 室屋和子, 田淵康子, 熊谷有記, 鈴鹿綾子: 高齢者の生活や社会活動と精神的健康との関連-配偶者との死別の有無に着目して-. 第42回日本看護科学学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE 配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	在宅の要介護高齢者と家族介護者への補間代替療法として有効な看護介入モデルの開発	0 (2,159)
准教授	室屋 和子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	在宅の要介護高齢者と家族介護者への補間代替療法として有効な看護介入モデルの開発	0 (100)
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	配偶者と死別した男性高齢者の社会生活への適応を促進する支援モデルの開発	130
准教授	室屋 和子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	配偶者と死別した男性高齢者の社会生活への適応を促進する支援モデルの開発	650
客員 研究員	鈴鹿 綾子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	配偶者と死別した男性高齢者の社会生活への適応を促進する支援モデルの開発	65
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	ピアサポーター参加型のがん相談支援ネットワークモデルの開発	0 (60)
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発	3,003
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	看取りのパンフレットを用いた終末期在宅ケアモデルの開発	0 (30)
准教授	室屋 和子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	看取りのパンフレットを用いた終末期在宅ケアモデルの開発	0 (30)
准教授	室屋 和子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	配偶者と死別した男性高齢者の心理回復過程と対処行動に関する研究	0 (205)
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	配偶者と死別した男性高齢者の心理回復過程と対処行動に関する研究	0 (20)
教授	田淵 康子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	Dying process の効果的な説明に関するケアモデル開発	39
准教授	室屋 和子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	Dying process の効果的な説明に関するケアモデル開発	39

※ () は繰越金で外数

公衆衛生看護学領域

著 書

- 1 猪谷生美：地域生活継続－家族エンパワメントモデルを用いた多職種支援－. 精神保健福祉援助演習（専門）第4版, 2022, 12, (株)弘文堂, 東京.

原著論文

- 1 田口友美, 村久保雅孝：介護予防体操に促進する音楽を付加することによる主観的効果. Total Rehabilitation Research, 10(0)：1-18, 2022, 6.
- 2 猪谷生美, 益満孝一, 李 慶洙, 趙 文基：日本の社会福祉施設のエッセンシャルワーカー研修に関する研究－職員研修会の教育プログラムの開発について－. 日本文化研究(韓国), Vol. 82, 201-225, 2022.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 田口友美, 村久保雅孝：介護予防体操に促進する音楽を付加して行く中で理学療法士に生じた意識変化のプロセス～複線径路・等至性モデル (Trajectory Equifinality Model) による検討. 第22回日本音楽療法学会学術大会 (ハイブリッド開催). 2022, 9, 16-18 (現地開催), 2022, 9, 16-10, 10 (オンデマンド配信).

地方規模の学会

- 1 田口友美, 村久保雅孝：介護予防体操に促進する音楽を付加することによる主観的効果. 日本音楽療法学会九州・沖縄支部2021年度大会. 2022, 3, 20.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
講 師	猪 谷 生 美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	パーマネンシー保障の実現に向けたフォスタリングシステムの構築に関する研究	100
講 師	猪 谷 生 美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	精神疾患を有するハイリスク養育者の子育て支援における意思決定支援モデル開発	910
講 師	猪 谷 生 美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	児童虐待軽減のための乳児院を中心とした包括的地域ケアシステムの構築に関する研究	10